



京都市学校歴史博物館だより

学歴博しんぶん



Vol.33

発行:平成29年11月
京都市学校歴史博物館

秋の
企画展

学校と博物学

平成29(2017)年9月30日(土) - 12月12日(火)

明治時代になると、植物・動物・鉱物など自然を研究する学問は、西洋の科学に基づいた「博物学」として新たに体系化され、小学校の教育に採用されるようになります。身の回りの事物を合理的に観察し、科学的に説明する博物学の考え方は、文明開化の風潮の中で始まっていく近代教育を支えるものでした。その後、教科としての博物学は理科へと繋がっていきます。

本展では、学校における博物学や理科の教育に用いられた教材を展示。教科書や標本、歴史資料、画家が手がけた博物図版などを通じて、学校における博物学教育の変遷を振り返ります。

(学芸員:森 光彦)



「博物図第二」(複製展示)
文部省 1873(明治6)年



「博物学教授法」
文部省 1876(明治9)年

冬の
企画展

近代日本の道徳教育

平成29(2017)年12月16日(土) - 平成30(2018)年4月15日(日)

今から約150年前、明治時代になると、しだいに全国各地に小学校が設置されていきました。この、江戸時代にはなかった近代の産物である小学校の特徴は、国で統一されたカリキュラムによって、様々な教科を、一斉授業で教えることを目指したところにありました。当時はまだ「道徳」という科目はありませんでしたが、修身科が設置され、この修身科を中心にして道徳教育が行われました。

本展では、明治初期から第二次世界大戦期までの小学校における道徳教育のあゆみを、様々な史料を通して振り返ります。

(学芸員:和崎 光太郎)



五月人形 楠木正成・正行
1880(明治13)年作
1928(昭和3)年より小学校で所蔵



教科書の楠木正成・正行
(['尋常小学国史 上巻']
1934(昭和9)年文部省検査済)



明治150年 — 明治の精神に学び、さらなる飛躍を —

平成30年(2018)は、明治元年(1868)から起算して満150年に当たります。

この年、学校歴史博物館は開館20周年を、
そして2019年には番組小学校の創設150周年を迎えます。



来年、平成30年は、明治改元から満150年の節目の年に当たります。京都にとって、明治時代は、維新で都の地位を失い、都市衰退の危機に直面した困難な時代でした。この危機に際し、私たちの先人は、力を合わせ、お金も出し合い、市民ぐるみで全国初の小学校を創設するとともに、琵琶湖疏水や水力発電所の建設、市電の開業など、先進的な取組に挑戦。困難を克服し、今日の発展の礎を築きました。このことを踏まえ、本市では、市民ぐるみで明治以降の京都の歩みを見直し、学び、未来に活かしていくため、来年の1月以降、あらゆる分野にわたり、多彩な明治150年関連事業を、1年を通して展開する予定です。また同時に、来年は当館にとっても開館20周年という記念すべき年であり、関連事業として特別展の開催を予定しています。

(京都市学校歴史博物館 事務局長 萩原 裕司)

近代小学校教育発祥の地・京都へようこそ——

京都は学校が面白い!

入館者30万人を達成いたしました!!

京都市学校歴史博物館は、平成10年11月11日に開館以来、常設展示だけではなく、当館ならではの特色ある企画展示、市民の生涯学習講座、子ども対象の教室などの事業を展開して多くの方々に来館いただき、いよいよ入館者30万人目を迎える日となりました。

平成29年6月20日の朝からカウントダウンを開始して、午後1時35分、節目の入館者として左京区在住の熊谷孝一様・禮子様ご夫妻を30万人目の入館者としてお迎えいたしました。当日は上村淳之館長談話室の開催日で、ご夫婦で参加するための入館でした。

談話室終了後、上村館長から認定証、自筆の墨書と西の版画圖、当館のオリジナルグッズ一式を記念品として手渡しいただきました。

(事業課長:大西 均)



企画展「近代日本の道徳教育」

この資料に注目! 国定修身教科書

明治期から終戦後までの小学校での徳育は、修身科を中心に行われました。では、修身科ではどんな教科書が使われたのでしょうか。

明治初期の文明開化の時期には、いろんな種類の翻訳教科書が使われました。明治10年代半ばからは、江戸時代の『実語教』や朱子学の教えをアレンジした内容の教科書が、主に使われるようになりました。授業でどの教科書を使うのかは、国が使用を控えるように通達した教科書があったり、途中から検定制度が始まったりなどいろいろありましたが、基本的には学校の先生に任されていました。

明治30年代後半(1900年代半ば)に小学校用教科書が国定化されてからは、文部省が編さんした1種類の教科書だけを、原則として全国(植民地を除く)どこの学校でも使うようになりました。でも、同じ国定教科書でも、時期によって内容が大きく異なります。ここにある2つの写真は、どちらも3年生用の国定修身教科書の、最初のページです。上が明治後期(1900年代後半)、下が第二次世界大戦期(1940年代前半)に使われた教科書です。内容も雰囲気も、ずいぶん違いますね。

(学芸員:和崎 光太郎)



『尋常小学修身書 第三学年』、1905(明治38)年文部省検査済



『初等科修身 一』、1942(昭和17)年文部省検査済
※この時期の1・2年生の修身教科書は、『ヨイコドモ』でした。

日本画教室が お二人体制に!!

橋田先生と二人で日本画教室の講師をしています。「日本画」のイメージは「古典的」「伝統的」でもその実、「よくは分からない、洋画とは違うもの」ではないでしょうか。

洞窟壁画に始まる、ルネッサンス以前の絵画の多くは、その前に立つとまるで現代の日本画技法で描いた様に見えてしまいます。今日の日本画は原始絵画の遺伝子を色濃く残し、太古の魅力と未来への可能性を併せ持った絵画です。わきあいあいと自由で楽しい日本画の教室を目指しています。

今年度4月より奥田先生が加わり、新しくなった日本画教室です。火曜日午前、午後、金曜日とクラスごとにカラーは違いますが、自由な雰囲気の中で個性豊かな方々が楽しく描いておられます。更に、二人になった講師のカラーが響き合い補い合って、個々の表現の幅も広がっていくことと楽しみです。

いつも支えて下さる館職員の方々や受講者の皆さんも一緒に、より良い楽しい教室を作っていきたいと思っております。平成30年4月には作品発表会(火曜コース)も予定されていますのでぜひご覧下さい。



橋田 純先生



奥田 眞子先生



学歴博のできごと

学歴博にはお子さんからおじいちゃんおばあちゃん、外国からのお客様まで、毎日いろいろな方がご来館くださいます。そんな学歴博の一日をここで少しだけご紹介!

6/18(日) 解説講座「近代京都画壇と学区」

平成29年4月15日から6月27日にかけて開催した企画展「学びやタイムスリップ 京都の美術と学校」に関連して行った解説講座です。

明治期以降、京都は日本画の一大拠点となり、竹内栖鳳や上村松園など数多くの日本画家が輩出しました。その作品には、京都画壇独自の美意識が表れています。画家たちは京都に暮らし、学区と交流することでこうした美意識を育んでいきました。本講座では、画家と学区の関係に注目しながら、日本画作品を解説しました。

画家が暮らした学区のことを知った上で展示を鑑賞すると、作品の新たな一面が発見でき、画家のことも、より身近に感じられたのではないのでしょうか。
(学芸員:森 光彦)



7/9(日) 講演会「幕末維新期の京都と教育」

番組小学校が創設されてからのことについては、当館ではこれまで展示や講演会などを通して、多くの方に学んでいただけたかと思います。しかし、番組小学校を創ろうと町の人たちが動き出すまでの道りについては、なかなか知っていただく機会がありませんでした。

そこで、幕末維新期の京都について造詣の深い小林丈広先生をお招きして、ご講演いただきました。申込開始直後に定員に達してしまい、急遽予定を変更して広い講堂での開催となりましたが、小林先生のわかりやすくかつ深いお話にみなさん熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

(学芸員:和崎 光太郎)

7/29(土) 上映会「むかしの子どもを動画で見よう!」

歴史を学ぶ方法には、本を読むこと、写真や資料を見ることなどがありますが、これまで当館では動画を通して歴史を学ぶことをほとんどやってきませんでした。このイベントでは、NPO「京都の文化を映像で記録する会」の理事長である濱口十四郎氏の多大なるご協力のもと、昭和初期の動画を上映し、ところどころで解説を挟みながらみなさんにご覧いただきました。

当館にとって初めての試みではありましたが、参加いただいた方々から一堂に「おもしろかった」「わかりやすかった」「ぜひ続編を」といったありがたい御言葉をいただきました。

(学芸員:和崎 光太郎)



9/16(土) 演奏会「明治の足踏みオルガンコンサート」

京都の小学校・幼稚園で使われていた現存最古の足踏みオルガンが、当館に展示されていることをご存知ですか。後に作曲家として有名になる一宮道子が、自分の学区の幼稚園である日影幼稚園に明治43(1910)年に寄贈したこのオルガンは、ヤマハの国産第16号とあって現在は製造されていない貴重なものです。その素晴らしい音色をお客様に知ってもらいたい、もう一度学校という場所で音を響かせたいという思いで、長年夢見ていたコンサートが実現しました。その他にも2台の足踏みオルガンが登場し、日本リードオルガン協会関西支部の3名の方の演奏により、たくさんのお客様にその音色を楽しんでいただきました。

【演奏/写真左から:文屋 知明・大森 幹子・鈴木 開(敬称略)】

(担当:小澤 瑛子)

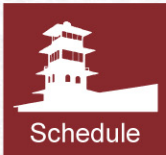
9/23(土) 講演会「明治時代の小学校」

全国の学校のことがわかれば、京都の学校の特徴もより明確に見えてくるかと思えます。ということで、私の講演は前回(「明治の青年と学校」,平成29年3月開催)に続き、今回も、京都だけではなく全国の学校のことを知っていただく内容にしました。

明治時代の特徴を知るために江戸時代の「学校」からお話を始めたこともあり、内容が非常に多く、また毎度のことながら横道にそれることも多々ある講演会ではありましたが、90名を超える多くの方々にご参加いただき、感謝しております。ありがとうございました、今後ともどうぞよろしくお願いたします。

(学芸員:和崎 光太郎)





年間予定 平成29(2017)年度

詳細は、当館ウェブサイト、チラシ、市民しんぶんなどで順次お知らせします。

学校歴史博物館 検索

展示

収蔵品展 3月18日(土)-4月11日(火)
このひと どんなひと? -学校を飾った人物画-

企画展 4月15日(土)-6月27日(火)
学びやタイムスリップ -京都の美術と学校-

企画展 7月1日(土)-9月25日(月)
京都番組小学校史入門 -創設150周年へカウントダウン-

企画展 9月30日(土)-12月12日(火)
学校と博物学



「オオハシの剥製」
昭和期



長谷信篤
「博学而篤志」
明治初期

企画展 12月16日(土)-平成30年4月15日(日)
近代日本の道徳教育



教育勅語謄本(巻子装)
1890(明治23)年



あめりか人形(青い目の人形)
1927(昭和2)年

催し ※参加申込が必要です。

子ども体験教室(小学生対象)

夏の子ども体験教室

- 明治の小学校 書写教室
- 博物館たんけんたい
- おもちゃの手作り教室
- にほん画に挑戦!

冬の親子体験教室

平成29年12月24日(日)
午前10時~12時 / 午後2時~4時
日本の風を代表する角凧づくりに挑戦
※小学生と保護者対象

春の子ども体験教室

詳細未定 ※HPにて随時更新

企画展関連講演会

平成30年2月24日(土) 午後2~4時

上映会:小津安二郎の名作映画
「大人の見る繪本 生まれてはみたくれど」で
むかしの子どもを見よう!
弁士:遊花(NPO法人京都の文化を映像で記録する会 理事)
解説:濱口十四郎(NPO法人京都の文化を映像で記録する会 理事長)
和崎光太郎(当館学芸員)

平成30年3月 3日(土) 午後2時~3時30分
3月18日(日) 午後2時~3時30分
※両日とも同一内容

講演会:近代日本の道徳教育
講師:和崎光太郎(当館学芸員)

平成30年3月10日(土) 午後2時~3時30分
講演会:これからの道徳教育
—いのちを問う—
講師:柴原弘志(京都産業大学教授) (※すべて敬称略)

教室・講座(一般対象)

第3[火] 午後2時-3時(8月を除く)
上村淳之館長談話室

[月] 午後2時-4時
唱歌・童話教室

[火] 午前10時-12時30分
日本画教室(火曜・午前)

[火] 午後2時-4時30分
日本画教室(火曜・午後)

[木] 午後2時-4時
楽しい混声合唱教室

[金] 午前10時-11時30分
古文書を読む
※年3回開講(9月・11月・2月)

[金] 午後2時-4時
描いてみよう!日本画

平成30年1月28日(日)・1月29日(月)
日本刺繍教室



京都市学校歴史博物館

〒600-8044
京都市下京区御幸町通仏光寺下る橋町437
TEL:075-344-1305 FAX:075-344-1327
<http://kyo-gakurehaku.jp/>
✉ rekihaku-jigyoku@edu.city.kyoto.jp

当館は、京都の学校の歴史に関する資料の保存・研究・展示をすすめる博物館です。正門・石塀は、国登録有形文化財。



開館時間 午前9時 - 午後5時(入館は4時30分まで)

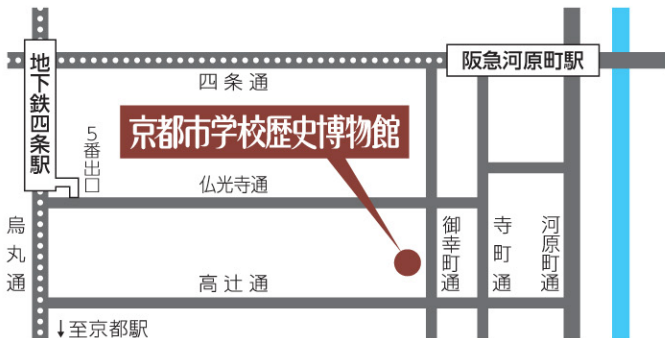
休館日 水曜日(祝日の場合は翌平日)、12月28日 - 1月4日

入館料 一般200円(160円)、小・中・高生100円(80円)
※()内は20名以上の団体料金
※京都市内の小・中学生は土・日曜日の入館無料

交通案内

- ◆ 阪急電車「河原町」下車 徒歩約10分 10番出口より南西へ
- ◆ 地下鉄烏丸線「四条」下車 徒歩約12分 5番出口より東へ
- ◆ 京阪電車「祇園四条」下車 徒歩約15分 3番出口より南西へ
- ◆ 市バス「四条河原町」下車 徒歩約10分 南西へ
- ◆ 市バス「河原町松原」下車 徒歩約5分 北西へ

※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。



※正門(御幸町通側)からお入り下さい。

